

無駄づかいをやめて福祉の財源に！

芦屋市の未来像を描こうとしないまま、大型土木事業に巨額の税金をつぎ込むのは愚かなことです。利権が絡んでいるわけではないのでしょうか。

子供にツケをまわさない!

◆JR芦屋駅南地区再開発は問題だらけ

大きなロータリーとマンションを建設する市の構想は、(将来予測でなく)過去のデータに基づくものだったりします。芦屋らしさの残る住環境を破壊する大工事には多くの市民が疑問をいんでいます。駅前の安全な交通と利便性を考えるなら、まずJRの協力を取り付けることです。



◆南芦屋浜地区に小学校新設は必要か？

70億円かけて小学校を新設する計画がありますが、この地区は近い将来児童数が減少します。潮見小と浜風小の2校に加えて新設すれば、3校とも小規模校になってしまいます。それでは子供たちは多様な人間関係を築くことができないし、教育効果も疑問です。潮見小の児童・保護者も新設に反対のようです。

◆市営住宅の大規模集約事業には疑問が

市は110億円以上かけて6つの市営住宅を集約しようと急いでいます。代案もあるので、長期的な見通しを立ててきちんと計画を練る必要があります。

パイプラインの存廃は市民の声を聞いて…

このまま単純に廃止することには反対です。廃棄物検討委員会が「有識者」だけというのはおかしい。市民の代表を加えて総合的に検討すべきです。

山田みち子は変えます！



芦屋がその良さを保つために、活力を取り戻すために、さまざまな活動を展開して36年。その実績と市議・県議の豊かな経験をいかして、暮らしやすい芦屋の再生に取り組む意欲に燃えています。

めざす方向が定まらない「行き当たりばったりの市政」なのに、チェックが甘い市議会。そういう現状を見るにつけ危機感がつのります。「JR芦屋駅南地区再開発」も、芦屋らしい戸建て住宅の並びを壊して人間味のない冷たい空間に変えてはなりません。「芦屋らしさ」を大切にする市民の声を聞いて、新しいコンパクトシティ時代にふさわしい事業にすべきです。

高齢化率の高い芦屋を、世代交代が順調で安心して永住できる町に変えていく政策も遅れています。芦屋の未来を築くために急がなければなりません。

芦屋には広い視野と長期的展望に立つ議員が今こそ必要です。私に変革の仕事をさせてください。

おもな活動歴

- 1979年 「芦屋川に魚を増やそう会」を設立
- 1983年 宮川の改修
- 1984年 芦屋川のゲンジボタル育成開始
- 1988年 「芦屋の自然林を守る会」会長就任
- 1990年 史跡・ふか切り岩と弁天滝を破壊から守る
- 1991年 芦屋市商工会女性部初代部長就任
- 1993年 環境グループ「葦の会」会長(2007年まで)
- 1995年 阪神淡路大震災兵庫復興計画準備委員会
- 1996年 環境省環境カウンセラー活動の開始
- 1999年 芦屋市議会議員初当選
- 2003年 芦屋市議会議員2期目当選(2位)
- 2004年 「兵庫の川サミット in 芦屋川」開催
- 2007年 兵庫県議会議員当選
- 2009年 DV被害者支援に取り組む
- 2010年 リース促進運動・認定NPOフードバンク関西参画
- 2011年 芦屋市長選で市民のための市政を訴える
- 2013年 地域活性化の活動「WAWAWAまつり」

福祉と環境は

山田みち子!

無所属
本
当
の
市
民
派

芦屋のために活動実績を積んで36年
市議会議員 上位当選2回

これからもやります!

後援会(年会費千円)にお入りください。
会費振込み先：曾我祐典【後援会長】
三菱東京UFJ銀行 芦屋支店 (普) 0134635